



平成29年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月20日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アクシーズ
コード番号 1381 URL <http://www.axyz-grp.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々倉 豊
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部長 (氏名) 伊地知 高正

TEL 099-223-7385

四半期報告書提出予定日 平成29年1月27日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第2四半期の連結業績(平成28年7月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第2四半期	9,626	△0.2	1,560	18.3	1,600	18.4	1,043	22.2
28年6月期第2四半期	9,646	12.1	1,318	85.0	1,351	76.8	853	81.0

(注)包括利益 29年6月期第2四半期 1,085百万円 (29.0%) 28年6月期第2四半期 841百万円 (76.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第2四半期	185.76	—
28年6月期第2四半期	152.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年6月期第2四半期	12,949	9,663	74.6	1,720.81
28年6月期	11,556	8,774	75.9	1,562.48

(参考)自己資本 29年6月期第2四半期 9,663百万円 28年6月期 8,774百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期	—	0.00	—	35.00	35.00
29年6月期	—	0.00	—	—	—
29年6月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,600	1.2	2,400	2.5	2,450	2.6	1,390	13.6	247.51

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年6月期2Q	5,617,500 株	28年6月期	5,617,500 株
② 期末自己株式数	29年6月期2Q	1,533 株	28年6月期	1,461 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年6月期2Q	5,616,021 株	28年6月期2Q	5,616,039 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が進み緩やかな回復が見られるものの、英国のEU離脱問題や新興国経済の成長鈍化に加え、米国大統領選挙の影響等による金融市場の急激な変動もあり、景気の先行きは不透明な状況となっております。

鶏肉業界におきましては、消費者の健康志向や国産志向等を要因として鶏肉需要は引き続き安定しているものの、為替相場の急速な円安進行等により飼料用穀物価格は上昇傾向で推移しております。

このような状況の中、当社グループの業績は、売上高96億26百万円（前年同四半期比0.2%減）となりました。利益面につきましては、営業利益15億60百万円（同18.3%増）、経常利益16億円（同18.4%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億43百万円（同22.2%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①食品

食品事業におきましては、鶏肉相場は軟調に推移しているものの、引き続き製造能力増強を実施し出荷数量を増加させた結果、売上高は微減となりました。また、肥育部門と鶏肉加工部門において生産工程の効率化及び製造コストの削減に努めた結果、売上高は81億50百万円（前年同四半期比0.3%減）、セグメント利益は、13億93百万円（同21.7%増）となりました。

（注）第1四半期連結会計期間から、従来「鶏肉関連」としていた報告セグメントの名称を「食品」に変更しております。この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。

②外食

外食事業におきましては、売上高は前年並みに推移しましたが、最低賃金の引き上げに伴う人件費の増加やキャンペーン期間延長に伴うコストの増加等により、売上高は14億75百万円（前年同四半期比0.1%増）、セグメント利益は、1億64百万円（同4.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末に比べ以下のとおりとなりました。

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ13億92百万円増加し、129億49百万円となりました。これは主に、現金及び預金が7億18百万円、受取手形及び売掛金が5億4百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ5億3百万円増加し、32億85百万円となりました。これは主に、未払金が3億3百万円増加したこと等によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べ8億89百万円増加し、96億63百万円となりました。これは主に、利益剰余金が8億46百万円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、営業活動により資金は10億50百万円増加したものの、投資活動及び財務活動により資金がそれぞれ23億95百万円及び1億96百万円減少したことにより、前連結会計年度末に比べ15億41百万円(42.9%減)減少し、当第2四半期連結会計期間末には20億49百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金収支は、10億50百万円の資金増加(前年同四半期は12億16百万円の資金増加)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が16億円、減価償却費が2億37百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金収支は、23億95百万円の資金減少(前年同四半期は3億69百万円の資金減少)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出が22億70百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金収支は、1億96百万円の資金減少(前年同四半期は1億40百万円の資金減少)となりました。これは主に、配当金の支払額が1億96百万円あったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期における業績は概ね計画通りに推移しており、平成28年8月5日に公表しました業績予想と変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,600	4,319
受取手形及び売掛金	1,439	1,943
製品	288	238
仕掛品	222	234
原材料及び貯蔵品	639	664
その他	260	318
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	6,449	7,718
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	488	453
工具、器具及び備品(純額)	1,420	1,246
土地	2,356	2,356
その他(純額)	185	505
有形固定資産合計	4,450	4,562
無形固定資産	5	4
投資その他の資産		
投資その他の資産	651	664
貸倒引当金	△1	△0
投資その他の資産合計	650	663
固定資産合計	5,107	5,230
資産合計	11,556	12,949
負債の部		
流動負債		
買掛金	442	491
未払金	1,107	1,410
未払法人税等	507	592
役員賞与引当金	18	—
その他	115	201
流動負債合計	2,190	2,696
固定負債		
社債	35	35
役員退職慰労引当金	124	128
退職給付に係る負債	158	161
その他	272	263
固定負債合計	591	588
負債合計	2,782	3,285
純資産の部		
株主資本		
資本金	452	452
資本剰余金	428	428
利益剰余金	7,851	8,697
自己株式	△1	△1
株主資本合計	8,730	9,577
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	44	86
その他の包括利益累計額合計	44	86
純資産合計	8,774	9,663
負債純資産合計	11,556	12,949

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)
売上高	9,646	9,626
売上原価	6,202	5,908
売上総利益	3,443	3,717
販売費及び一般管理費	2,124	2,157
営業利益	1,318	1,560
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	2	2
持分法による投資利益	5	7
受取家賃	14	14
為替差益	—	4
その他	11	15
営業外収益合計	35	45
営業外費用		
支払利息	0	0
その他	2	4
営業外費用合計	2	4
経常利益	1,351	1,600
税金等調整前四半期純利益	1,351	1,600
法人税、住民税及び事業税	498	583
法人税等調整額	△0	△26
法人税等合計	497	557
四半期純利益	853	1,043
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	853	1,043

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	853	1,043
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12	42
その他の包括利益合計	△12	42
四半期包括利益	841	1,085
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	841	1,085
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,351	1,600
減価償却費	246	237
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	0
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△11	△18
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△0	4
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△0	2
受取利息及び受取配当金	△4	△4
その他の営業外損益(△は益)	△23	△25
支払利息	0	0
持分法による投資損益(△は益)	△5	△7
有形固定資産除売却損益(△は益)	0	3
売上債権の増減額(△は増加)	△311	△504
たな卸資産の増減額(△は増加)	53	12
仕入債務の増減額(△は減少)	157	49
未払金の増減額(△は減少)	80	129
その他	41	42
小計	1,574	1,523
利息及び配当金の受取額	4	4
利息の支払額	△0	△0
賃貸料の受取額	14	14
法人税等の還付額	3	—
法人税等の支払額	△388	△502
その他の収入	11	15
その他の支出	△1	△4
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,216	1,050
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10	△2,270
定期預金の払戻による収入	10	10
有形固定資産の取得による支出	△412	△179
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
投資有価証券の売却による収入	0	—
貸付けによる支出	△22	△25
貸付金の回収による収入	68	73
敷金及び保証金の差入による支出	△0	△0
その他の収入	0	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△369	△2,395
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△140	△196
財務活動によるキャッシュ・フロー	△140	△196
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	706	△1,541
現金及び現金同等物の期首残高	1,868	3,590
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,574	2,049

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年7月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	食品	外食	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,171	1,474	9,646	—	9,646
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	0	△0	—
計	8,171	1,474	9,646	△0	9,646
セグメント利益	1,145	172	1,317	1	1,318

(注) 1. セグメント利益の調整額1百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年7月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	食品	外食	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,150	1,475	9,626	—	9,626
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	0	△0	—
計	8,150	1,475	9,626	△0	9,626
セグメント利益	1,393	164	1,558	1	1,560

(注) 1. セグメント利益の調整額1百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメントの名称の変更)

第1四半期連結会計期間から、従来「鶏肉関連」としていた報告セグメントの名称を「食品」に変更しております。この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報についても変更後の名称で記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。